SONY

4-547-917-**01**(1)

デジタル HD ビデオカメラレコーダー / ライブビューリモコン

取扱説明書

ヘルプガイド（Web 取扱説明書）
本書では、HDR-AZ1 本体と、付属のライブビューリモコン RM-LVR2V で可能な操作方法を説明しています。詳しい使いかたは、オンラインマニュアルの「ヘルプガイド」をご覧ください。「ヘルプガイド」は、パソコンやスマートフォンでご確認いただけます。

http://rd1.sony.net/help/cam/1410/ja/

本機専用の動画編集 PC ソフトウェア“Action Cam Movie Creator”を以下の Web サイトからダウンロードしてください。
http://www.sony.net/actioncam/support/
なお、本機やソフトウェアの使いかたも、こちらをご覧ください。

• XAVC S 形式での動画撮影時は、Class10 以上の SDXC カードをお使いください。

HDR-AZ1/RM-LVR2V

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書およびヘルプガイド（Web 取扱説明書）をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

→ 裏面もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1 年に 1 度は、カメラおよびリモコンのマルチ／マイクロ USB 端子にほこりがたまっていないか、ケーブル類に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラとリモコンの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら ➡
❶ **電源を切る**
❷ **カメラでは電池を外す、リモコンではマルチ／マイクロ USB 端子を抜く**
❸ **相談窓口に連絡する**

裏面に相談窓口の連絡先があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。**
❷ **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
❸ **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
❹ **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

© 2014 Sony Corporation Printed in China

4547917010

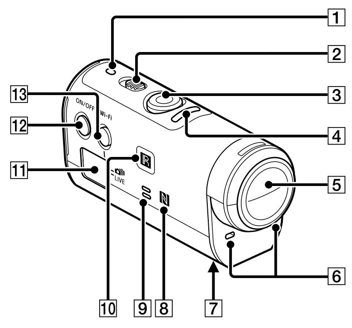
お買い上げいただきありがとうございます。

同梱品を確かめる

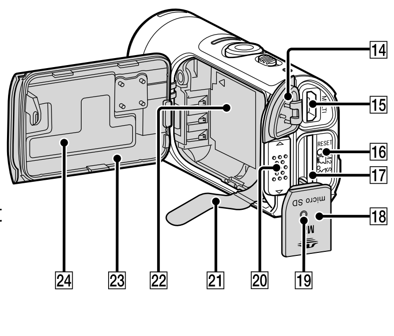
カメラ（1）
ライブビューリモコン（RM-LVR2V）（1）
マイクロ USB ケーブル（1）
リチャージャブルバッテリーパック（NP-BY1）（1）
ウォータープルーフケース（SPK-AZ1）（1）
装着バックル（1）
平面用接着マウント（1）
曲面用接着マウント（1）
三脚アダプター（1）
印刷物一式

各部の名前

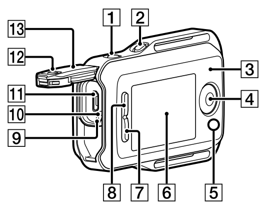
カメラ



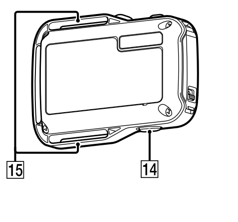
1 POWER/CHG（充電）ランプ
2 REC HOLD スイッチ
3 REC（動画 / 静止画）ボタン
4 REC ランプ /LIVE ランプ
5 レンズ
6 マイク
7 三脚アダプター取り付け穴
8 Ⓝ（N マーク）
NFC（Near Field Communication）は近距離無線通信技術の国際標準規格です。
9 スピーカー
10 IR リモコン受光部
11 表示パネル
12 ON/OFF（電源）ボタン
13 Wi-Fi ボタン
14 端子カバー（USB）
15 マルチ / マイクロ USB 端子
この商品にはマイクロ USB 規格に対応した機器をつなぐことができます。
16 RESET ボタン
17 メモリーカード挿入口
18 メモリーカードカバー
19 REC/ アクセスランプ
20 バッテリーカバーロックレバー
21 バッテリー取りはずしシート
22 バッテリー収納部
23 バッテリーカバー
24 SSID ラベル



ライブビューリモコン



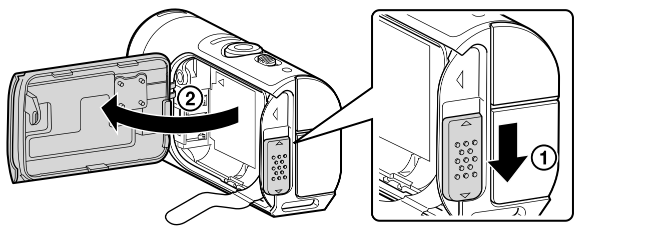
1 MENU ボタン
2 DISP ボタン
3 GPS アンテナ
4 REC/ENTER ボタン
5 REC/Wi-Fi ランプ
6 液晶モニター
7 DOWN ボタン
8 UP ボタン
9 CHG（充電）ランプ
10 RESET（リセット）ボタン
11 マルチ / マイクロ USB 端子
12 ロックレバー
13 端子カバー（USB）
14 ON/OFF（電源）ボタン
15 ベルト取り付け部



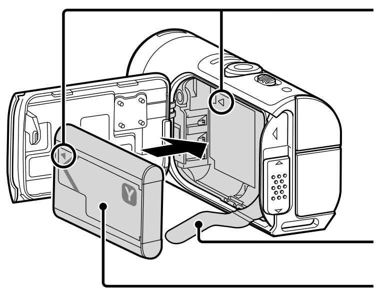
準備する

カメラを充電する

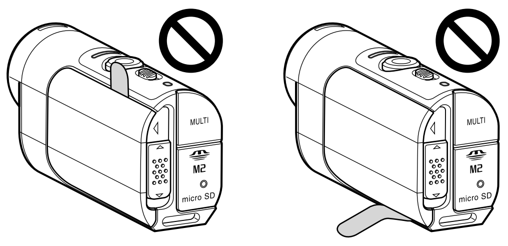
1 カバーを開ける。
① ロックレバーを OPEN の方向にずらす。
② ◀ マークからカバーを開ける。



2 バッテリーを取り付ける。



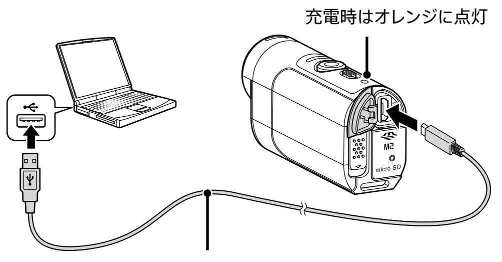
カバーをしっかり閉め、ロックレバーを LOCK の方向にずらします。ロックレバー部に黄色いマークが見えなくなること、カバーがしっかり閉められてることを確認してください。カバー内にバッテリー取りはずしシートや砂などの異物を挟み込むと、防滴パッキンが傷つき、浸水の原因になります。



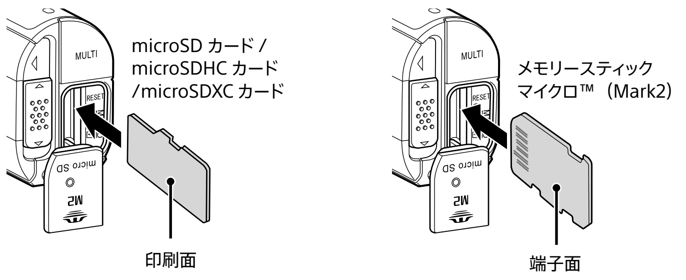
カバーを閉じるには、手順 1 と逆の操作を行います。バッテリーを取りはずすには、バッテリー取りはずしシートをひっぱります。バッテリー取りはずしシートがバッテリーの下にもぐり込んだ状態で格納すると、バッテリーが取りはずせないことがあります。また、水漏れの原因にもなります。

3 カメラの電源が OFF になっていることを確認する。
電源を切るには、ON/OFF（電源）ボタンを押して、POWER ランプが消えたことを確認します。

4 カメラと、起動しているパソコンをマイクロ USB ケーブル（付属）で接続する。



メモリーカードを入れる



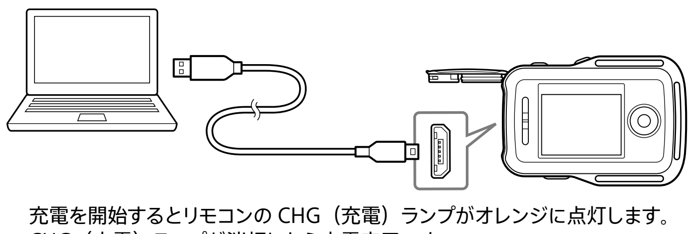
メモリーカードの裏表に注意して正しく挿入してください。
※ XAVC S 形式での動画撮影時は、Class10 以上の SDXC カードをお使いください。

ご注意
• すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
• 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
• お使いになる前にメモリーカードをフォーマットしてください。
• メモリーカードを取り出すには、メモリーカードを軽く 1 回押します。
• お使いになる際には、端子カバー、メモリーカードカバー、バッテリーカバーがきちんと閉められていること、異物などの挟み込みがないことを確認してください。閉められていない状態や異物などを挟み込んだ状態で使うと、水漏れの原因となります。

ライブビューリモコンを充電する

1 リモコンの電源が OFF になっていることを確認する。

2 リモコンと、起動しているパソコンをマイクロ USB ケーブル（付属）で接続する。

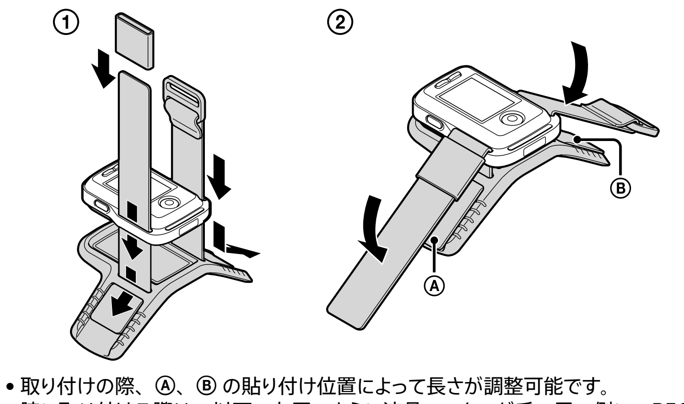


充電を開始するとリモコンの CHG（充電）ランプがオレンジに点灯します。CHG（充電）ランプが消灯したら充電完了です。

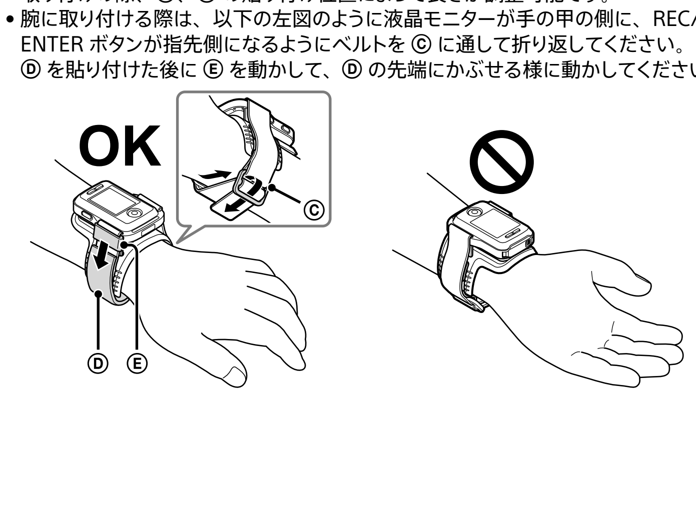
ご注意
• バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
• 電源が ON になっているときは給電となり、充電されません。

ライブビューリモコンにベルトを取り付ける

リモコンをベースプレートの上に置き、ベルト取り付け部に ① のようにベルトを通し、② のように取り付ける。



• 取り付けの際、Ⓐ、Ⓑ の貼り付け位置によって長さが調整可能です。
• 腕に取り付ける際は、以下の左図のように液晶モニターが手の甲の側に、REC/ENTER ボタンが指先側になるようにベルトを Ⓒ に通して折り返してください。Ⓓ を貼り付けた後に Ⓔ を動かして、Ⓓ の先端にかぶせる様に動かしてください。

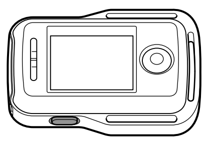


ご注意
• 指定以外への取り付けは、けがなどの原因となる場合があります。
• リモコンの表側に GPS アンテナが内蔵されています。リモコンを下向きにすると、測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
• 右手に取り付ける場合は、リモコン設定の画面回転を ON にしてください。
• 腕に取り付ける際は、必ず同梱のベースプレートとベルトを正しく取り付けてご使用ください。
• ベルトの取りはずしの際、リモコンが落下しないようご注意ください。

ライブビューリモコンの電源を入れる

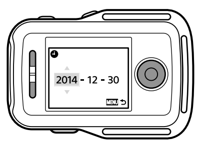
1 端子カバーがしっかり閉まっていることを確認する。
• 閉まっていない場合は、端子カバーのロックレバーの、黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じます。端子カバー内に砂などの異物を挟み込むと、防水パッキンが傷つき、浸水の原因になります。

2 ON/OFF（電源）ボタンを押す。

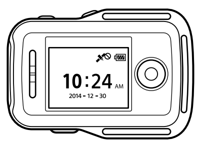


• 初めて電源を入れたときには、日時設定画面が表示されます。
• 電源を切るときは、再度 ON/OFF（電源）ボタンを押します。

3 日時設定画面を設定する。
• UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して設定したい項目を選び、REC/ENTER ボタンを押す。
• UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して好みの設定値を選び、REC/ENTER ボタンを押す。



• 日時設定が完了しました。DISP ボタンを押すと、次のように設定した日時が確認できます。



カメラの設定を確認する

1 カメラの電源を入れる。

2 カメラの画面に［Wi-Fi］マークが付いていることを確認する。
•［Wi-Fi］マークが表示されていない、もしくは［Wi-Fi］マークの上に、■ が表示されている場合は、［Wi-Fi］マークのみが表示されるまで、Wi-Fi ボタンを押してください。

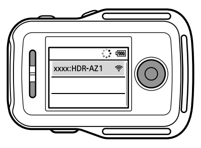
シングル接続

（マルチ接続）、（ライブ接続）の使いかたは、ヘルプガイド（Web 取扱説明書）をご覧ください。
http://rd1.sony.net/help/cam/1410/ja/

カメラとライブビューリモコンを Wi-Fi で接続する

1 カメラとリモコンの電源を入れる。

2 リモコンの液晶モニターに Wi-Fi 機器選択画面が表示されたら、UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して接続するカメラの SSID を選択し、REC/ENTER ボタンを押す。



• Wi-Fi 認証待ち状態になり、長い間隔で電子音が鳴ります。ここでカメラの Wi-Fi ボタンを長押しすると、短い電子音が 1 回鳴って、接続が完了します。
• リモコンの液晶モニターが Live-View 画面に切り替わり、REC/Wi-Fi ランプが青く点灯します。カメラとリモコンが Wi-Fi で接続されました。

設定する

リモコンとカメラが Wi-Fi 接続されているときにリモコンの MENU ボタンを押すと、接続されたカメラの設定をすることができます。

1 リモコンの MENU ボタンを押す。
設定項目一覧が表示されます。

2 リモコンの UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して設定したい項目を選び、REC/ENTER ボタンを押す。

3 リモコンの UP ボタンまたは DOWN ボタンを押して好みの設定値を選び、REC/ENTER ボタンを押す。
各設定項目の詳細は、ヘルプガイド（Web 取扱説明書）でご確認ください。
http://rd1.sony.net/help/cam/1410/ja/

設定項目	
切断	Wi-Fi 接続を切断し Wi-Fi 機器選択画面に戻る
再生モード	リモコンで画像の再生や削除
MODE : 撮影モード	動画 / 静止画 / インターバル静止画の切り換え
動画設定	HQ 画質設定
	: ON 手ブレ補正
	: OFF 上下反転
	SCN : NORMAL シーン
	COLOR : VIVID カラー設定
	: MP4 動画記録フォーマット
静止画設定	: OFF 上下反転
	SCN : NORMAL シーン
	DRIVE : 連写
	: 8 fps 1s 連写撮影間隔
	: OFF セルフタイマー
インターバル静止画設定	: OFF 上下反転
	SCN : NORMAL シーン
	: 2 sec インターバル撮影間隔
接続機器設定	TC/UB タイムコード / ユーザービット設定
	: OFF IR リモコン
	NTSC ➔ PAL NTSC/PAL 切り換え
	: OFF オートパワー OFF
	: ON 電子音
	FORMAT フォーマット
リモコン設定	: OFF 画面回転
	: HI モニター明るさ
	日時エリア設定
	設定リセット
	バージョン情報
	接続モード
	: ON GPS 設定
	: OFF 飛行機モード
	ネットワーク設定リセット

ご注意
• 各設定画面で表示されるアイコンの種類は、接続するカメラの撮影モードや録画モード、リモコンの接続設定状態によって異なります。
• 設定値選択画面から設定項目選択画面に戻るには、⮌を選択してください。

撮る

使用用途にあわせて必要なアクセサリーを取り付けてください。
同梱のアクセサリーの詳細については、下記をご覧ください。
http://rd1.sony.net/help/cam/1415/ja/

1 カメラの REC HOLD スイッチをスライドして、REC HOLD を解除する。
カメラの REC HOLD が解除されている場合は、手順 2 に進みます。

2 カメラまたはリモコンの REC ボタンを押して撮影を開始する。
• リモコンの REC/Wi-Fi ランプが青の点灯から赤の点灯に変わります。

3 撮影を停止するときは、もう一度カメラまたはリモコンの REC ボタンを押す。
• リモコンの REC/Wi-Fi ランプが赤の点灯から青の点灯に変わります。

ご注意
• カメラで撮影した画像以外は再生保証できません。
• カメラでの画像の再生はできません。画像を再生するには、同梱のリモコンもしくは、PlayMemories Mobile がインストールされたスマートフォンが必要です。
• 長時間、連続して撮影し続けるとカメラの温度が上昇し、撮影が自動的に止まることがあります。

スマートフォンで操作するときは

同梱されているリモコン以外にスマートフォンでもカメラを操作できます。

スマートフォンにアプリをインストールする

PlayMemories Mobile

Android OS の場合

Google play から、PlayMemories Mobile ™を検索してインストールしてください。

• NFC ワンタッチご使用の場合は Android 4.0 以上が必要です。

iOS の場合

App Store から、PlayMemories Mobile を検索してインストールしてください。

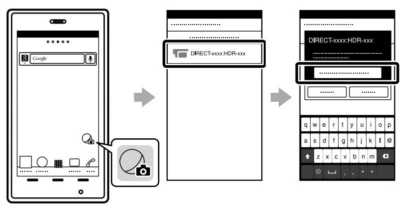
• NFC ワンタッチは iOS ではご使用できません。

ご注意
• 既にインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
• 本書で説明している Wi-Fi 機能は、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
• アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。
• PlayMemories Mobile の詳細は、こちらをご覧ください。
（http://www.sony.net/pmm/）

接続する

Android の場合

① カメラの電源を入れる。
② スマートフォンで PlayMemories Mobile を起動する。
③ スマートフォンでバッテリーカバーの裏に貼付されているシールの SSID を選ぶ。
④ スマートフォンでバッテリーカバーの裏に貼付されているシールのパスワードを入力する（初回のみ）。

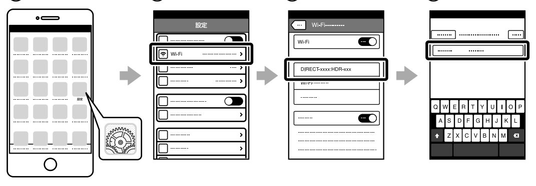


Android（NFC 対応）の場合

カメラのⓃ（N マーク）部分にスマートフォンのⓃ（N マーク）または（FeliCa プラットフォームマーク）部分をタッチする。
PlayMemories Mobile が起動すれば、Wi-Fi 接続まで自動で進みます。
• 一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンは NFC に対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

iPhone の場合

① カメラの電源を入れる。
② スマートフォンの [設定] を起動する。
③ スマートフォンで [Wi-Fi] を選ぶ。
④ スマートフォンでバッテリーカバーの裏に貼付されているシールの SSID を選ぶ。
⑤ スマートフォンでバッテリーカバーの裏に貼付されているシールのパスワードを入力する（初回のみ）。
⑥ スマートフォンにカメラの SSID が表示されていることを確認する。
⑦ ホームに戻り、PlayMemories Mobile を起動する。



シール以外での確認方法

万一シールが剥がれたり読みにくくなってしまった場合は、以下の手順で ID とパスワードが確認できます。
① 充電されたバッテリーをカメラに入れる。
② カメラとパソコンをマイクロ USB ケーブル（付属）で接続する。
③ ON/OFF（電源）ボタンを押し、電源 ON にする。
④ パソコンの画面で、[コンピュータ] → [PMHOME] → [INFO] → [WIFI_INF.TXT] の順に表示させ、ID とパスワードを確認する。

⚠警告 安全のために

→表面もあわせてお読みください。

警告表示の意味
この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険	この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。
⚠警告	この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。
⚠注意	この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
火災 感電	禁止 分解禁止	指示

電池について
「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

⚠警告

火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**火災、大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

カメラとライブビューリモコンについて

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。
分解禁止

内部に水や異物（金属類や燃えやすいものなど）を入れない
火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、カメラではすぐに電源を切り、電池を取り出してください。リモコンではすぐに電源を切ってください。USB 接続している場合は、カメラでは USB ケーブルを抜いて、リモコンではマルチ／マイクロ USB 端子を抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。
禁止

運転中に操作しない
自動車、オートバイなどの運転をしながら、カメラとリモコンの操作は絶対おやめください。交通事故の原因となります。
禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう
周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。
禁止

指定以外の方法で充電しない
火災やけがの原因となることがあります。
禁止

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない
カメラではウォータープルーフケース固定用ネジ、メモリーカードは乳幼児の手の届く場所に置かない
付属品などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
禁止

ケーブル類を傷つけない
熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。
禁止

カメラについて

長時間、手に持ち続けて使用しない
使用中にカメラが熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。
禁止

⚠注意

火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

カメラとライブビューリモコンについて

油煙のあるところでは使わない
火災の原因になることがあります。
禁止

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところに置いたり、カメラでは不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
禁止

コード類は正しく配置する
接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。
指示

充電中の製品に長時間ふれない
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない
熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。
禁止

カメラとライブビューリモコンのワイヤレス機能ご使用上の注意

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
指示

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
禁止

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
指示

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、廃棄時以外に以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
- 本製品を分解 / 改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品は 2.4GHz 帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項
本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本書の「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

2.4DS / OF2 この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は 20m 以下です。

ワイヤレス LAN に関するご注意

- 紛失や盗難などによってカメラに搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- カメラおよびリモコンの Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

カメラについて

レンズに衝撃を与えない
レンズはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。
禁止

メモリーカードをはずすときは、手をそえる
メモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。
指示

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い（カメラ）

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	• バッテリーパックは指定された方法や、正規のバッテリーチャージャー以外で充電しない。 • 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 • 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 • 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 • 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。	禁止
⚠警告	• 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 • バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。 • アルカリ電池 / ニッケルマンガン電池は充電しない。 • 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。	禁止
⚠注意	• 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り外しておく。	指示

AC アダプターについて

AC アダプターはお手近なコンセントをお使いください。
カメラを使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電気を遮断してください。
充電が完了して CHG（充電）ランプが消えても電源からは遮断されません。

ライブビューリモコンについて

長時間使用しない
体調のすぐれない方や、皮膚が弱い方、血行障害の方などは、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合がありますので、長時間のご使用はお控えください。
禁止

機銘板について

機銘板は本体下部にあります。
確認が必要な際は、ベルトをはずしてご覧ください。

使用上のご注意

【カメラとライブビューリモコンについて】

Wi-Fi 機能について
- ご使用になる場所の規則に従ってお使いください。
- 水中では Wi-Fi はお使いいただけません。

無線に関する機能（Wi-Fi）を一時的に無効にするには
飛行機などに搭乗するとき、一時的に無線に関連する機能をすべて無効にすることができます。
- ［飛行機モード］を［On］に設定すると、リモコンの液晶モニターに ✈ が表示されます。

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティーについて
- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレス LAN を使用していることを確認してください。
- ワイヤレス LAN ではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティー対策を施さず、あるいはワイヤレス LAN の使用上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

【カメラについて】

動作温度にご注意ください
カメラの動作温度は約－ 5 ℃～＋ 40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所でのご使用はおすすめできません。

温度上昇についてのご注意
- ご使用中に本体およびバッテリーが熱くなりますが故障ではありません。
- 本体を直接手に持ったまま、あるいは直接素肌に触れたままの状態で長時間ご使用になることは避けてください。付属の接着マウントやウォータープルーフケース、または別売のマウントアクセサリーのご使用をおすすめします。
- 気温の高い場所ではカメラの温度上昇が速くなります。
- カメラの温度を充分下げるために、電源を切ったときは 10 分以上そのまま放置してください。
- カメラの温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。

温度保護機能について
カメラやバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に動画撮影が停止したり、電源が切れることがあります。撮影が停止したり電源が切れる前には、カメラの REC ランプが点滅し、リモコンにメッセージが表示されます。このような場合は、カメラやバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び動画撮影が停止したり電源が切れることがあります。

防じん・防水性能について
- 同梱のウォータープルーフケース装着時は防じん、防水（水深 5 m、連続 30 分）仕様です。ウォータープルーフケースの使いかた、取り扱い上の注意については、アクセサリーのヘルプガイド（WEB）をご覧ください。

別売のアクセサリーについて
国や地域によっては発売されていないものもあります。

【ライブビューリモコンについて】

動作温度にご注意ください
リモコンの動作温度は約－ 10 ℃～ +40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所でのご使用はおすすめできません。

防水性能について
リモコンは防水性能を備えていますが、誤った使いかたによる故障は保証の対象外になります。
- 高い水圧がかかることがあるため、水道などからの勢いのある水を、直接あてないでください。
- 温泉で使用しないでください。
- 0℃から 40℃の水温でご使用ください。

水中・水辺で使用する前のご注意
- 砂、髪の毛、ほこりなどの異物を、端子カバーに挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水の原因となります。
- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面に傷がついてないことを確認してください。わずかな傷でも浸水の原因になります。傷がついてしまった場合は、修理相談窓口にご相談ください。
- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面にゴミや砂がついているときは、繊維の残らない柔らかい布等で拭き取ってください。
- 水辺での使用中や、手に水や砂がついているときは、絶対に端子カバーの開け閉めをしないでください。水や砂がリモコンの中に入って故障の原因となります。端子カバーを開ける前に必ず、「水中・水辺で使用した後のお手入れ」を行ってください。
- 完全に乾いた状態で端子カバーを開けてください。
- 端子カバーが確実にロックされていることを必ず確認してください。

水中・水辺で使用中のご注意
- 水中に飛び込むなど、リモコンに衝撃を与えないでください。
- 水中・水辺で端子カバーの開け閉めを行わないでください。
- リモコンは水中で沈みます。水没防止の為にベルトをご使用ください。

GPS について
- GPS アンテナはカメラではなくリモコン側に内蔵されています。
- GPS 衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPS は衛星から電波を受信し測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS 衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、位置情報を記録できないことがあります。
  – トンネルの中・屋内やビルの陰
  – 高層ビルの間・建物の間の狭い道路
  – 地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
  – 1.5GHz 帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合
- リモコンの表側に GPS アンテナが内蔵されています。リモコンを下向きにすると受信感度が低くなり、測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- リモコンの GPS 設定が［ON］の状態で撮影した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合はリモコンの GPS 設定を［OFF］にして撮影してください。

誤差について
- リモコンの電源を入れた直後に移動すると、移動しなかった場合にくらべて、測位までの時間が長くなることがあります。
- GPS 衛星自体による誤差
  リモコンは、3 個以上の GPS 衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS 衛星自体による誤差は、約 10m 程度ですが、測位する周辺の環境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS 衛星は米国国防総省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。
- 測位時間による誤差
  リモコンでは測位中に位置情報を定期的に取得しています。位置情報の取得と画像への書き込みに若干の時間差があるため、実際に画像を撮影した位置と地図上の位置が異なる場合があります。

規制について
- 使用する国や地域、またご利用になる場所の規制に従って GPS をお使いください。

廃棄するときは

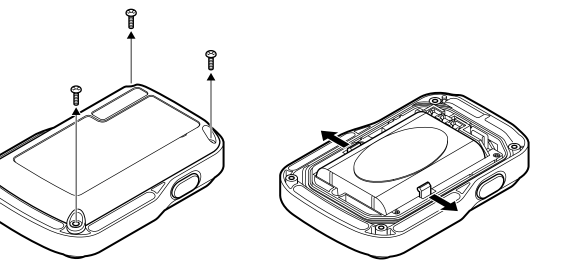
本体内蔵のバッテリーを取りはずしてから廃棄してください。

バッテリーを取りはずす
本体内蔵のバッテリーはリサイクルできます。
廃棄するときは、バッテリーを取りはずし、リサイクル協力店へお持ちください。

⚠注意
バッテリーを取りはずすときは、次のことに注意してください。
- 小さなお子様の手の届かないところで行ってください。 ネジなどの部品を誤って飲み込むおそれがあります。
- 爪や指などにけがをしないよう、充分に注意してください。

重要
リモコンを廃棄するとき以外は、絶対にネジを取りはずさないでください。不当な分解が行われたと当社が判断した場合は、交換／修理をお断りします。

1. ON/OFF（電源）ボタンを押し、電源を切る。
2. 接続しているケーブル類を取りはずす。
3. プラス（＋）ドライバーでネジを取りはずす（4 か所）。
4. カバーを取りはずす。
5. 爪を外側に押しバッテリーを取りはずす。



お願い リチウムイオン電池 Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。
不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人 JBRC ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

主な仕様

カメラ

信号方式： デジタルハイビジョン方式
電源電圧： バッテリー端子入力：3.7 V（NP-BY1）
　　　　　マルチ / マイクロ USB 端子入力：5.0 V
USB 充電：DC 5.0 V、500 mA
防滴性能： IPX4 相当（当社試験条件による）
動作温度： － 5 ℃～ ＋ 40 ℃
保存温度： － 20 ℃～ ＋ 60 ℃
外形寸法（約）：
　　　　　24.2 mm × 36.0 mm × 74.0 mm（幅 × 高さ × 奥行き、突起部を除く）（同梱ウォータープルーフケース含まず）
質量： 約 48 g（本体のみ）
使用時総質量：
　　　　　約 63 g（バッテリー含む、同梱ウォータープルーフケース含まず）

ライブビューリモコン

電源電圧： バッテリー端子入力：3.6 V
　　　　　マルチ / マイクロ USB 端子入力：5.0 V
USB 充電：DC 5.0 V、500 mA/800 mA
防水性能： 水深 3 m、連続 30 分（すべての状況において防水を保証するものではありません）
動作温度： － 10 ℃～ ＋ 40 ℃
保存温度： － 20 ℃～ ＋ 60 ℃
外形寸法（約）：
　　　　　72.3 mm × 50.2 mm × 20.8 mm（幅 × 高さ × 奥行き、突起部を除く）
質量： 約 67 g（本体のみ）
使用時総質量：
　　　　　約 98 g（ベルト、ベースプレート含む）

- カメラ、リモコン、アクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 上記以外の仕様は、ヘルプガイド（Web 取扱説明書）に記載しています。あわせてご確認ください。

商標について

- メモリースティックおよび MEMORY STICK ロゴ は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Mac は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iOS は、シスコの登録商標または商標です。
- Android、Google Play は Google Inc. の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi ロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UP は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- N マークは NFC Forum, Inc. の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- FeliCa プラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
- microSDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、™、® マークを明記していない場合があります。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
この製品は国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
ヘルプガイド（Web 取扱説明書）の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
相談窓口にお問い合わせください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はデジタル HD ビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 8 年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

お問い合わせ窓口のご案内

製品の最新サポート情報
（製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）
http://www.sony.jp/support/actioncam/

製品ホームページ
http://www.sony.jp/actioncam/
製品の最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル	フリーダイヤル
......................**0120-333-020**	......................**0120-222-330**
携帯・PHS・一部のIP電話	携帯・PHS・一部のIP電話
....................**050-3754-9577**	....................**050-3754-9599** ※ 取扱説明書等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「405」+「＃」（本機や付属品）
「404」+「＃」（ソフトウェアAction Cam Movie Creator）
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/